

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書（0歳児）

施設名	保育園夢未来桜新町園
施設所在地	東京都世田谷区弦巻3-9-9
法人名	株式会社我喜大笑

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

- ・光との出会い
- ・光探し

<テーマの設定理由> ※①②両方について記載

#### ①テーマの設定に活かした園の環境や強み

0.1.2歳児の小規模保育園の為、保育室内の環境を使って子どもの興味関心を引き出せるよう心掛けて保育設定をしている。窓も多いことから、光が差し込むスペースが多い為、光の探求をテーマに掲げ、活動を楽しみたいと思い設定した。

#### ②設定したテーマに子供の興味関心があると判断した理由

日頃から、光が差し込む位置に興味を示し、手を伸ばしたり観察する様子が見られていた。月齢関係なく光を認識出来る様になってきた為、光を通して更に周囲の世界を認識し、活動を楽しめるのではないかと思い、テーマを決めた。

### 2. 活動スケジュール

①日常で見られる光に、より注目したり興味を持てるよう、日常的に光探しをする。

②ダンボールやカラーセロハンを用いて光のトンネルを作り、光の反射や変化を感じられる活動を行う。

③ミラーボールやライト、プロジェクターを使って、光の移り変わりや影の存在に気付けるよう、探求遊びを行う。

#### 【主な実施日】

- ・夏の光がよく入り込む日中（自然光の変化）
- ・雨の日等室内が暗くなりやすい日（人工の光の遊び）

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

ミラーボール・ライト・プロジェクター・カラーセロハン等

大きめのダンボールの所々を様々な形でくり抜き、その部分にカラーセロハンを貼り、そこに光が当たると、様々な光の変化が見られるように設定をした。

また、カーテンや照明を使って様々な光を感じられるようにした。

### 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

ミラーボールやプロジェクター、ライトを使った光の探求を行い、日常ではなかなか感じづらい光の変化や影に気付けるよう楽しんでみる。

また、段ボールやカラーセロハンを使った光の探求も行き、窓から差し込む自然光を使って光の変化を楽しんだり、日常的に感じている光と更にカラーセロハンによって反射する光の変化を楽しめるよう活動する。光のトンネルとしても活用する等単発ではなく、日頃から楽しめる活動を実践してみる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

活動中は積極的に光を追ったり、変化が見られる様子に驚いた様子の子どももいた。段ボールとカラーセロハンを使った光の探求では、光のトンネルとしてくぐって楽しむ他、床に反射する光や色の付いた光を観察し、光の変化を楽しんでいた。ミラーボールやプロジェクター、ライトを使った光の探求では、日常では見えにくい光の変化や影の存在に気付き、子ども達にとっては新鮮な感覚だったようで、目で追うだけでなく影を追う等様々な反応が見られた。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

今回行った光の探求は、0歳児にとっても分かりやすく、実践しやすい内容だった為様々な日に実施したり、長い期間で光の遊びを楽しむ事が出来た。その為、子ども達が興味を示す様子も沢山見られ、様々な光の変化や影の存在に気付いている様子だった。気付いた事を近くにいる保育者や友だちに伝えようとコミュニケーションを取る姿もあった。身近な光が形を変え、興味や探求心が深まる時間となった為、今後も光の遊びを継続して行っていきたい。

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書（1歳児）

施設名	保育園夢未来桜新町園
施設所在地	東京都世田谷区弦巻3-9-9
法人名	株式会社 我喜大笑

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

絵本の世界を楽しむ

<テーマの設定理由> ※①②両方について記載

①テーマの設定に活かした園の環境や強み

・子どもたちが集団及び1対1での絵本の読み聞かせを楽しみにする姿が見られることから「絵本」をテーマに設定。

・絵本の貸し出しを行い、園で楽しんでいる絵本を家庭で楽しめる環境が整っている。

②設定したテーマに子供の興味関心があると判断した理由

絵本環境を新しく設定する中で、絵本が選びやすくなり、新しい絵本にも興味を持ったり、様々な物語に親しむ姿が見られた。

### 2. 活動スケジュール

・新しい絵本棚の設置。

・毎月様々な絵本の読み聞かせを行う。

・8月：9月のいもほりの導入として、「さつまのおいも」の絵本を読み聞かせを行う。

9月の制作でさつまいもスタンプを楽しむ。

9月親子行事の導入「ばけばけばけ ばけたくん」の読み聞かせを行う。

親子行事の制作でボディペインティングを楽しむ。

・9月：いもほりを楽しむ。

親子行事で「ばけたくん」をテーマに親子で身体を動かして楽しんだ。

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

・絵本コーナー設定の充実のため、絵本棚を新しく購入。

・毎月、絵本をテーマに制作物の準備を行う。

### 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・絵本棚を購入し新たな絵本コーナーの充実を図り、年間を通して絵本に親しみをもち、自分の好きな絵本を見つけて楽しめる環境の設定をした。

・毎月の制作を絵本のテーマに合わせて行った。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

・子どもが絵本を身近に感じられるよう絵本コーナーの充実を図った。絵本の表紙が見える絵本環境を設定し、選びやすい様子が伺えた。自分の気に入った絵本を読んで欲しいと持ってくる姿が見られた。

・何度も読み聞かせをしていく中で、絵本の物語や出てくるものに興味をもつ様子が見られた。「さつまのおいも」ではさつまいもに興味を示していた。制作でさつまいもスタンプをすると、子どもたちから「さつまいもやりたい」と声が上がっていた。実際に楽しめたことで、次の日も「さつまいもやりたい」という声が聞かれた。いもほり当日にも意欲的に取り組んでいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・今まで背表紙だけが見える絵本環境だったが、表紙が見える絵本棚に変わったことで、表紙の絵や色を見て手にとったり、保育者に持って行く姿が見られ、今までよりも興味が広がるきっかけになっていると感じた。表紙の絵本を持つてくることが多いように見えた。また、友だちと一緒に同じ絵本を楽しむ姿も見られた。

引き続き絵本に親しみが持てるように環境を整えていきたい。

・製作や行事などの導入で絵本の読み聞かせを行い、興味と意欲につながり、子どもたちが心待ちにする姿が多々見られ、良い機会となった。

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書（2歳児）

施設名	夢未来桜新町園
施設所在地	東京都世田谷区弦巻3-9-9
法人名	株式会社我喜大笑

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

色に興味を持ち、色の混ざり合いや色の特性を知る

<テーマの設定理由> ※①②両方について記載

①テーマの設定に活かした園の環境や強み

保育室ごとにクラスカラーの装飾がされた室内やトイレ等、園全体で様々な色にこだわった

室内環境が整えられており、自然に様々な色や色の違いに触れる機会が多く持てる。

②設定したテーマに子供の興味関心があると判断した理由

色の名称を保育士に知らせたり、色の違いや好きな色という意識が芽生え興味関心が広がっていた。

## 2. 活動スケジュール

①身近にある色を探してみる(2025,6,1~6,30)

②色の変化を楽しむ(2025,7,1~7,31)

③色の特性を知る(2026,03,04)

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

①色画用紙で作成した色ごとの表・様々なもの生き物の写真

②絵の具・模造紙・ローラー

③ライトテーブル・カラーセロハン・テント

## 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

①様々な色の表を壁面に貼り、活動の中で子どもたちが見つけたものや生き物の写真やイラストを色ごとに表に仕訳けた。事前に用意できなかった写真やイラストはその都度

印刷して発見した子どもたちが自ら表に貼れるよう整えた。

②フィンガーペイントで好きな色を見つけたり、色の混ざり合いから新しい色が生まれる

発見が見られたりできるよう設定をした。

③光やカラーセロハンから見える透き通った様々な色の世界や発見に気付けるよう設定した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

子どもたちは働きかけから好きな色を見つけたり、色の特性に発見や興味を持つような姿が見られていた。中でも②の活動では「紫になった」などと色の変化に気付く様子が多かった。また、今回のテーマを通して「〇〇ちゃんはピンクが好き」などの発信が増えたり、色についての会話が多く見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・子どもたちが色に興味を持ち始めていた為、より興味関心が持てるよう園舎内や戸外活動の際に色探しを始めた。身近な物で色探しをする事で見つけた喜びを感じると共に身の回りには様々な色がある事を知り「色」というものを日常生活の中で意識し始めていた。
  - ・普段の会話の中でも保育士に「〇〇色があったよ」と報告する声が多く聞かれるようになり保育士や友だちとのコミュニケーションの輪もひろがった。
- ・色の三原色や興味のある色だけでなく様々な色の名称を知らせることにより知識が増え「知っている」という自信にも繋がっている様子だった。
- ・次第に自分の好きな色を見つけ意識し始める姿も見られるようになり色を選ぶ姿が見られるようになった。
- ・ボディペインティングを通し身体全体で色に触れる事に色で遊ぶ事により「楽しい」という経験に繋がっていった。
- ・色を混ぜるとどのようなようになるのか保育士が声掛けを行うと興味を示し、意識的に色を混ぜるようになり色の変化に気付く、子どもたち同士喜びを共有する姿が見られた。また、色を「知る」「興味を持つ」から「変化に気付く」に変わりより深く興味関心を示すようになっていった。
- ・光を使った色遊びでは光を通した色の様子だけでなく、②で色の変化を経験した事により子どもたち自身が「色を重ねたらどうなるだろう？」と自然に色に対し疑問を持ち、実際にカラーセロハンを重ね試す様子が見られた。子どもたち同士で一緒に試したり結果を教え合ったりする会話も聞かれコミュニケーションがひろがっていった。
- ・はじめは保育士の声掛けにより気付いたり疑問を持ったりしていたことも子どもたち自身が疑問を持ち知ろうとする、疑問を解消するため実践し気付く納得するなどの経験を経て色遊びを通し成長を感じることが出来た。